

校長挨拶

天栄村立天栄中学校長として2年目を迎えました。

昨年度同様、保護者の皆様と地域の方々からのご理解とご協力を賜りながら、教職員一丸となって天栄中学校の発展に尽力する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度は、34名の新1年生を迎え、生徒総数114名、7学級での新たなスタートを切ることとなります。

本校は昭和42年4月1日に、広戸中学校、大里中学校、牧本中学校が統合され、今年度で創立59年目を迎える伝統ある学校です。令和5年3月末に湯本中学校が閉校されたことに伴い、天栄村唯一の中学校となりました。これまでの先人の校長先生方をはじめ先生方や保護者、地域の皆様方が創り上げてきた、この天栄中学校のすばらしい伝統・文化をしっかりと繋いでいくとともに、地域の絆づくりの中核を担う場にしたいと考えております。

天栄中学校の最大の使命（ミッション）は

「生徒一人一人の真の幸せ」を考え「活力ある学校づくり」のために最善を尽くす

ことであると考えます。「生徒一人一人の真の幸せ」とは、子ども達の育った環境・背景や個性等をしっかりと把握したうえで、その子にとって、どうしてやるのが真の幸せにつながるかを十分に考え、議論し、実行すること。「活力ある学校」とは、教職員と生徒が明るく、元気に生き生きと教育活動を行い、秩序が保たれている（場を清め、時を守り、礼を尽くす）中で、安全で活気のある学校です。この使命を果たすべく、全職員が一団結して、子どもたちを育成してまいります。

また、今年度の学校経営の基本方針として、切磋琢磨

「至誠」～ひたむきに、ひとつに、まごころを尽くす～

を掲げました。学校に行けば、楽しいことがある…。夢中になれるものがある…。仲間とともに何事にも挑戦でき、それを支えてくれる先生がいる…。自分のよさが認められ、安心して力を発揮することができる…。

天栄中学校を、子ども一人一人が存分に活躍できる場としていきたいと思っております。

保護者の皆様や地域の皆様、そして子ども達の声に耳を傾けながら、地域の誇りである天栄中学校をさらに発展させるべく、教職員とともに励んでまいります。皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

令和7年4月

天栄村立天栄中学校 校長 市川 知広